

## 【目標達成計画】

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	地域防災訓練には毎回参加しているが、現状避難訓練というより、報告訓練となっている。	地域防災訓練の位置づけを理解し、有事の際における、円滑な避難・報告を確立するため、ネットワークを強化したい。	①地域防災訓練の継続参加。 ②訓練時の立会い依頼と評価 ③自治会会合への参加し、地域特性・防災の取り組みについて意見交換を行う。 ④具体的な訓練として、計画を立案しPDCAを行い評価していく。	6ヶ月
2	26	ケアプランの個別性について、計画書に反映されていない部分が多く、具体的な達成の評価が取りづらい、画一的なケアプランの傾向がある。	個別性をより意識したサービス計画書の作成	①個々のニーズを明確にし、短期目標が評価しやすい(わかりやすい)内容としていく。 ②既存ケアプランの見直し ③研修等参加し、ケアマネジメントについての理解を深めていく	6ヶ月
3	36	介護職員としての立場は勿論ですが、介護サービスを提供する立場・仕事であることの自覚が乏しい面がある。	認知症対応型共同生活介護という、サービス提供事業所との意識を今以上に持てる	①基礎的知識の習得 ②専門的知識の習得(外部研修)と共有 ③待遇・権利擁護の理解 ④グループホームの理解(介護保険上や、生活する上での長所や短所、私たちの役割)	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

※項目の欄は、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入するか、コピーしてページを増やして下さい。